

農村地域の活性化のための様々な取組

- 農村地域では、少子高齢化・人口減少が進行する一方、「田園回帰」など農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価されており、農村振興局では、地域活性化の取組を後押しする様々な政策を立案・実施しています。

しごと

- 農村発イノベーション
(6次産業化のほか、地域資源と他分野を組合せて新しい事業を創出する取組)
 - ・農泊の推進
 - ・ジビエ利用の拡大
 - ・農福連携の推進



くらし

- 地域コミュニティ機能の維持・強化
 - ・多面的機能支払交付金、中山間地等直接支払交付金
 - ・農村地域づくり事業体※の育成
- 生活インフラの確保 (情報通信環境等)
- 鳥獣被害対策



※複数の集落の機能を補完して、地域資源の保全や農業振興と併せて、買い物・子育て支援等の地域コミュニティの維持に資する取組みを行う事業体

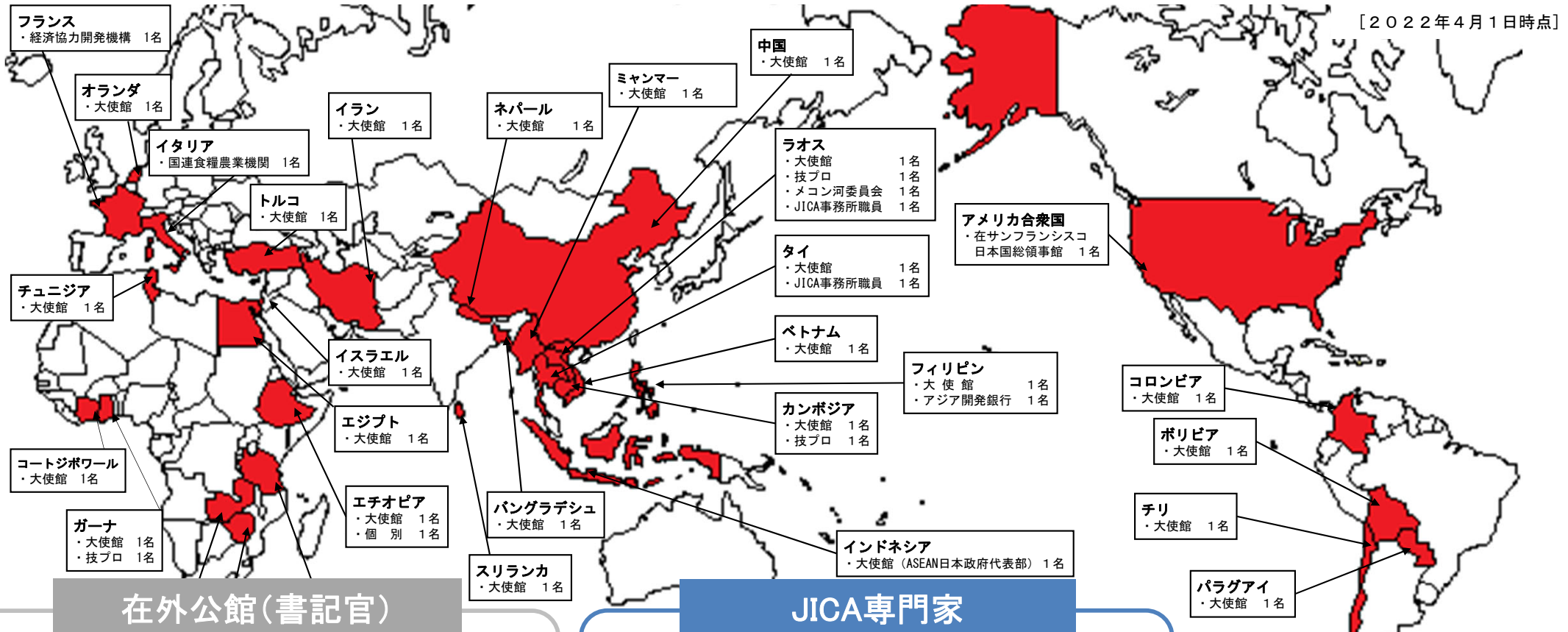
活力

- 地域を支える体制、人材づくり
 - ・農村プロデューサー養成講座
- 農村の魅力の発信、国民の理解の促進
 - ・ディスカバー農山漁村の宝 (優良事例表彰)
 - ・世界農業遺産・日本農業遺産、世界かんがい施設遺産の認定
 - ・棚田地域の振興と魅力の発信 (優良事例集、棚田カード等)



農業農村開発分野における国際協力

- 発展途上国の農林水産業の発展や農村の振興に向け支援を行うことは、日本をはじめとする先進国の責務です。
- 農村振興局では、アジアの国々との技術交流の実施、国際的な枠組み (ICID, INWEPF など) と連携した灌漑技術の展開、政府開発援助 (ODA) による事業の実施等により国際社会に貢献しています。



在外公館(書記官)

- 外交官としての様々な任務
- ODA(政府開発援助)の企画・実施管理、農産物貿易交渉の調整等



JICA専門家

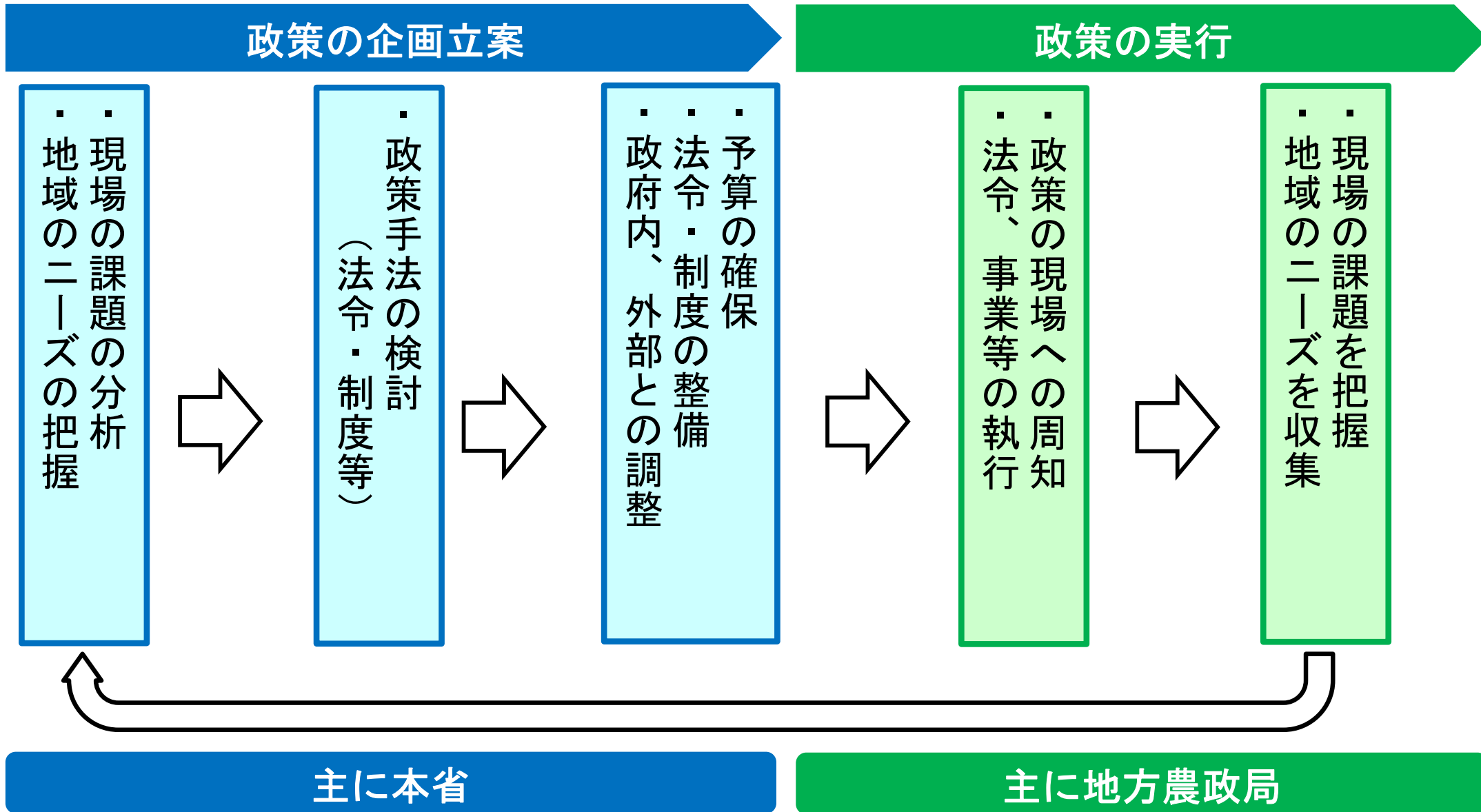
- 現地政府機関等の政策アドバイザー
- 技術協力プロジェクトの専門家(灌漑、水管理等)



国際機関

- 各国際機関の職員として、飢餓・水不足等の世界的な問題の解決に向けた支援業務

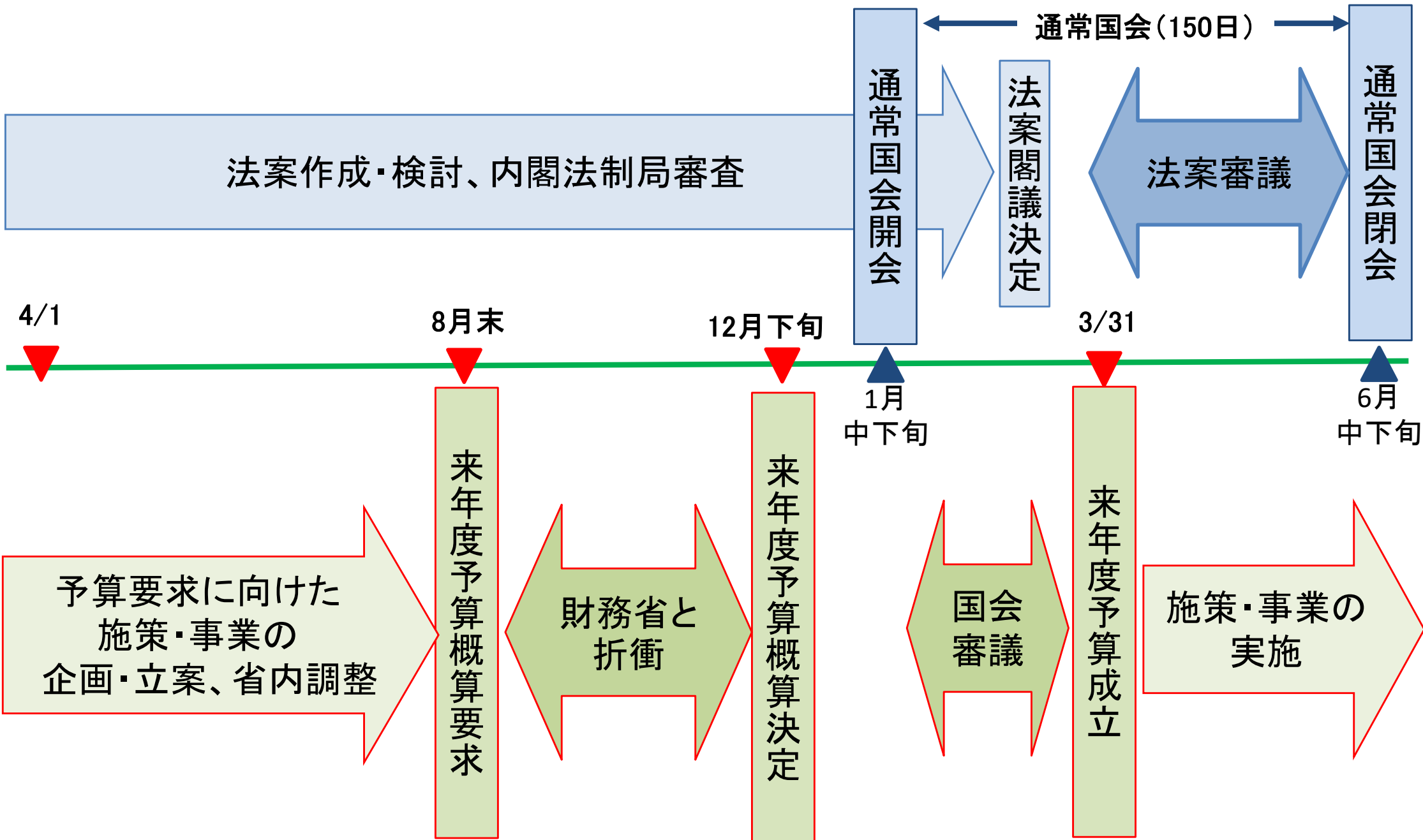
政策の企画・立案から実行までの流れ



総合職：本省で採用。
本省勤務が多い。

一般職：各農政局で採用。
農政局勤務が多い。

国会・予算編成の流れ



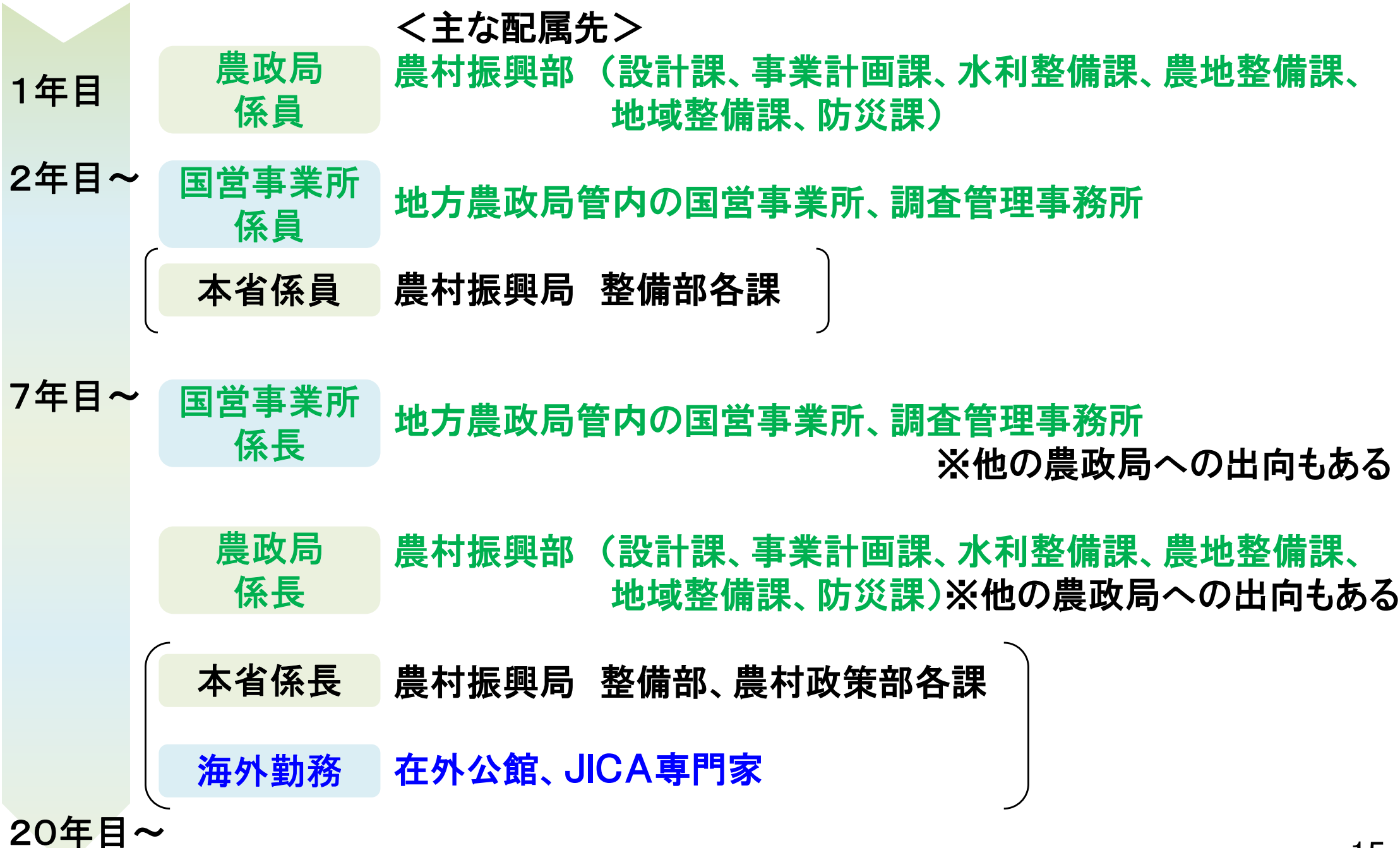
採用区分と業務内容

採用区分		業務の特徴や配属先
<p>【総合職】 農業工学系</p> <p>本省で採用</p> <p>採用対象試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学(農業機械を除く) ・ 工学(うち電気、電子、通信、機械) ・ デジタル 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 本省で全国的視点に立った施策の企画・立案、農政局で各地域の実情を踏まえた調整や農業農村整備事業の実施。 ○ 他省庁、地方公共団体、海外での業務(大使館書記官、JICA専門家など)もある。
<p>【一般職】</p> <p>農村振興技術系</p> <p>地方農政局で採用</p> <p>採用対象試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学 ・ 機械 ・ デジタル・電気・電子 ・ 土木 ・ 農学 ・ 物理 ・ 化学 <p style="text-align: right;">(調査計画のみ)</p>	農業土木	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の実施など、農村の地域づくりに関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、国営事業所等(本省、海外等での仕事の機会もある)。
	調査計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の計画づくり、地域活性化の取組等に関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、土地改良調査管理事務所、本省等。

総合職のキャリアパスの例

1年目	本省係員	<主な配属先> 農村振興局（整備部、農村政策部各課）
2年目～	国営事業所 係員	地方農政局、北海道開発局、沖縄総合事務局の国営事業所 【海外留学（人事院 行政官長期在外研究員制度）】
5年目～	本省係長 【2～3ポスト】	農村振興局（整備部、農村政策部各課） 他部局（大臣官房、輸出・国際局、経営局等） 他省庁（内閣府、総務省、外務省等）
9年目～	国営事業所 課長	地方農政局、北海道開発局、沖縄総合事務局の国営事業所
	海外勤務	在外公館、JICA専門家、国際機関(FAO等)
16年目～	本省課長補佐 【3～5ポスト】	農村振興局（整備部、農村政策部各課） 他部局（大臣官房、輸出・国際局、農産局等） 他省庁（内閣官房、内閣府、復興庁、国交省、環境省等）

一般職（農業土木）のキャリアパスの例



一般職（調査計画）のキャリアパスの例

1年目～

農政局
係員

<主な配属先>

農村振興部

（農村計画課、土地改良管理課、農村環境課、事業計画課）

調査管理
事務所係員

各地方農政局の調査管理事務所

本省係員

農村振興局 農村政策部、整備部各課

7年目～

調査管理
事務所係長

各地方農政局の調査管理事務所

農政局
係長

農村振興部

（農村計画課、土地改良管理課、農村環境課、事業計画課）

本省係長

農村振興局 農村政策部、整備部各課

20年目～

研修制度

- 職員の能力が最大限発揮されるよう、キャリアパスに応じて様々な研修カリキュラムが用意されています。
- また、従事する業務に必要な知識・技術の修得・向上のための専門的・実践的な研修も充実しています。

初任者研修

農業農村整備の目的や効果及び農業農村工学分野に関する基礎科目を学ぶ。

農業水利基礎養成研修

用水計画に係る基礎的な知識の修得、調査の実習及び水収支計算の演習を行う。

農村派遣研修

農作業を中心とした体験を行うとともに、農家宅へ泊り実習を行う。

係長研修

農林水産行政の施策展開の認識と企画立案能力向上を図る。

工事課長研修

事業を適正に管理・運営し、部下を指導・育成する能力の向上を図る。

幹部候補育成課程研修

業務運営や組織統率に必要なリーダーシップ及びマネジメントについて理解を深める。

専門技術研修・実践技術研修

基礎的かつ実務的な技術知識を習得し、技術者としての能力向上を図る。

施設機械

施工管理

事業計画

事業管理

ストックマネジメント

開水路・パイプライン

水利システム

農村防災・減災技術

農村計画・地域資源

講習会

ダムの管理・保全

用水計画・河川協議

CAD

UAV(ドローン)技術

プレゼンテーション

電気主任技術者

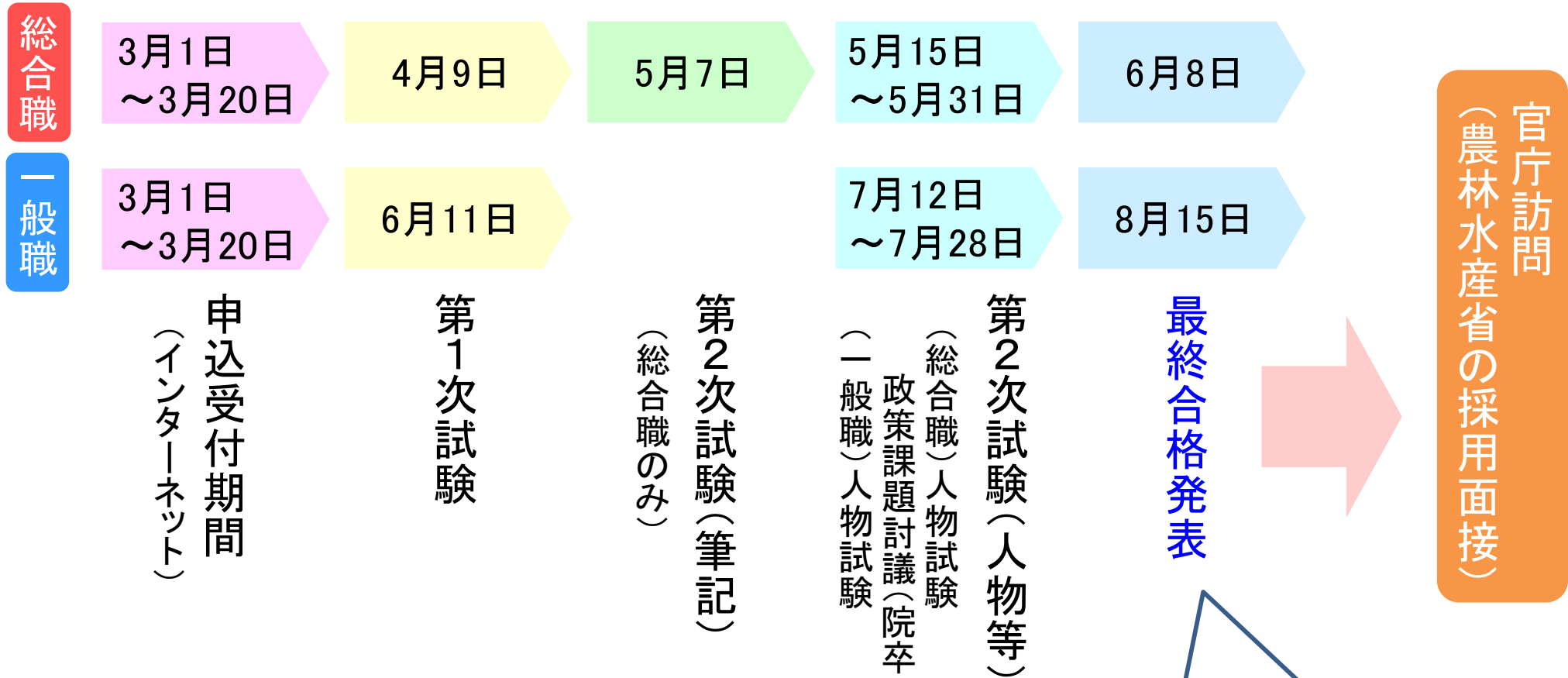
契約・審査

災害復旧技術

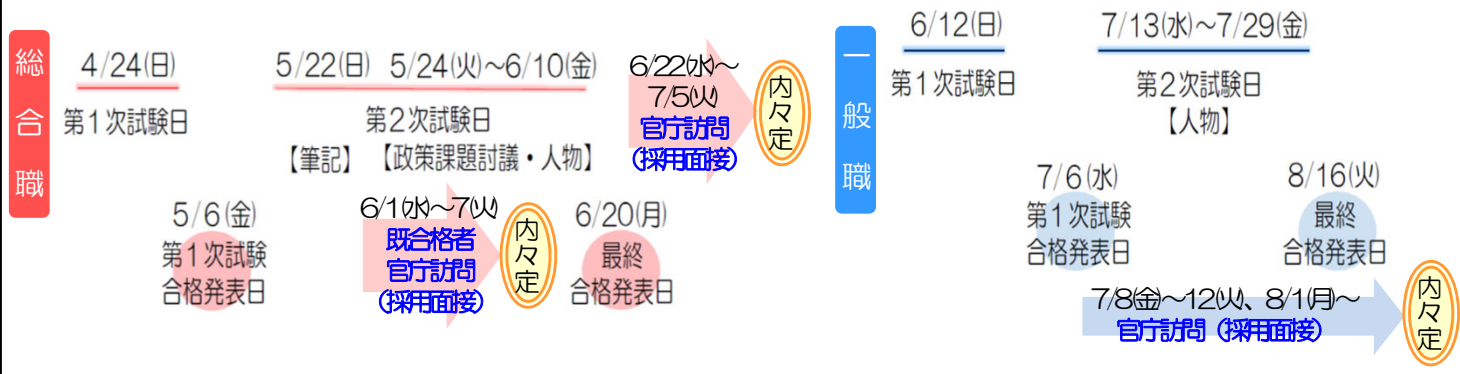
採用プロセス

◆2023年度 採用スケジュール

☆最新の情報は、人事院HP『国家公務員試験採用情報NAVI』を参照。



（参考）2022年度 採用スケジュール



最終合格者は、採用候補者名簿に記載されます。
一度名簿に記載されると**5年間**有効です。
※2022年度試験以前の合格有効期限は3年間。

採用実績（総合職）

試験年度	区分	申込者数	一次試験合格者数	最終合格者数	採用者数
2021	院卒	14 (3)	13 (3)	12 (2)	18 (7)
	大卒	159 (51)	117 (33)	63 (20)	
2020	院卒	25 (6)	14 (2)	9 (1)	19 (7)
	大卒	198 (58)	87 (25)	52 (17)	
2019	院卒	23 (6)	16 (4)	11 (1)	16 (6)
	大卒	204 (77)	72 (27)	38 (18)	
H30	院卒	16 (2)	14 (2)	12 (2)	14 (5)
	大卒	217 (71)	57 (21)	34 (11)	

2022年度総合職 入省者



注1 ()内は女性数で内数

注2 申込者数、一次合格者数、最終合格者数は、試験区分「農業農村工学」の数。

注3 採用者数は、各試験年度の翌年度採用者の数で、過年度試験の既合格者からの採用者を含む。

採用実績（一般職）

試験年度	申込者数	一次試験合格者数	最終合格者数	採用者数	
				農業土木	調査計画
2021	204 (71)	152 (47)	87 (24)	28 (13) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 27名 ・機械 1名	6 (2) 【採用試験区分】 ・農学 4名 ・農業農村工学 2名
2020	206 (71)	121 (38)	46 (15)	23 (10) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 20名 ・機械 2名 ・土木 1名	7 (3) 【採用試験区分】 ・農学 4名 ・農業農村工学 3名
2019	256 (93)	191 (65)	116 (41)	22 (11) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 22名	
H30	236 (78)	179 (57)	119 (39)	19 (12) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 19名	

注1 () 内は女性数で内数

注2 申込者数、一次合格者数、最終合格者数は、試験区分「一般職（大卒程度試験）農業農村工学」の数。

注3 採用者数は、各試験年度の翌年度採用者の数で、過年度試験の既合格者からの採用者を含む。また、試験区分「農業農村工学」以外からの採用を含む。なお、調査計画は、農村振興技術系として採用試験を開始した2020年度以降について掲載。

- ◆ 農業・農村に愛着を抱き、新たな課題に挑戦する意欲と情熱にあふれ、積極的に行動できる若い力
 - ・ 現場の様々な課題に気づく感性
 - ・ 関係者とのコミュニケーション
 - ・ 技術者としての専門性（大学で勉強した専門分野を活かす）
 - ・ 時代の変化を見通す広い視野
 - ・ 新たな課題に挑戦するチャレンジ精神

- ◆ 行政官としての様々な経験を通じて自分を成長させたい人